

対象地域の自治会のみなさんへ

10月25日（日）午前8時から

雨天決行

訓練当日することは3つです

1

午前8時 まず、自分の身を守る

防災行政無線から緊急地震速報が流れます。
地震が起きたと想定して、約1分間、
シェイクアウト訓練を行ってください。



まず低く



頭を守り



動かない

2

家族と自分の安全を確認したら、タオルを掲げる

玄関先など道路から見える場所に「タオル」などを
掲げてください。

タオルは「わが家は無事です」の合図です

タオルがある家は確認を省略できるため、
地域の安否確認を早く行うことができます。



※一時避難場所に行けない方は、午前9時30分ごろにタオルを片付けてください

3

午前8時10分から 地域で決めた一時避難場所へ集合

タオルを掲げたら、各地域で決めている「一時避難場所」へ集合してください。

★この機会に地域の拠点を確認しましょう。

なぜ一時避難場所に集まるのか

一時避難場所は、安否確認や救助等の地域の拠点であり、
救助の担い手になれる人が集まり、
助けを必要とする人が地域に頼ることができる場所です。
訓練を通じて、場所を知り、地域の人との顔が見える関係
をつくれます。



※今回の訓練の集計対象は自治会加入世帯のみです。

※実際の災害時は、一時避難場所を拠点にタオルのかかっていない家の安否確認をお願いします



集まった世帯数の確認が終わったら訓練終了です

※帰宅されたらタオルを片付けてください。

※事前に依頼された地域代表者の方は、このあと別途会場訓練を行います。

※警報等の発表や災害の発生などにより訓練を中止する場合は、防災行政無線（はしメール）などでお知らせします。

【共催】羽島市・羽島市自治委員会

【問い合わせ】羽島市危機管理課 058-392-1111（内線5103）

① まず、無事を知らせる

無事です タオル運動

① まずは身の安全を守る



② 家族の無事を確認



③ 無事ならタオルを掲げる



④ 外から無事が伝わる



無事を知らせて、
次の助け合いへ。

② 次に、地域で助け合う

一時避難場所は 助け合いの拠点

① 家と周囲が安全なら在宅避難



② 手助けできる人が集まる



③ 助けが必要なことを伝える



④ タオルのない家へ、助けに



タオルを目印に、
確認と助け合い。

※自分の安全を確保してからタオルを掲げましょう。

※地域での確認・支援は、自分の安全を確保し、無理のない範囲で。